

足元のポートフォリオ状況について

インフラ関連グローバル株式ファンド 愛称 にいがたインフラサポート
追加型投信／内外／株式

2021年12月30日

- 当ファンドは2021年12月20日に、約10億5千万円の設定額で運用を開始しました。
- 運用開始後、株式市場の流動性や個別銘柄へのマーケット・インパクトを考慮しながら、早期に90%以上組入れ、その後も追加設定等を勘案し、段階的に組入比率を引き上げております。
- その結果、12月28日時点での株式組入比率は96.4%、組入銘柄数は80、基準価額は10,603円となりました。また純資産総額は約13億円となりました。
- 当レポートでは、設定後の足元のポートフォリオ状況などについてご案内します。

1. 4つのテーマ

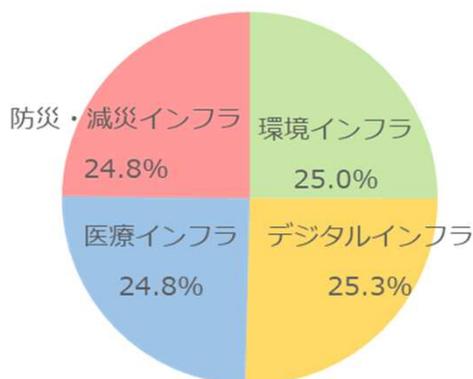
当ファンドはグローバルで進むインフラ整備の担い手となる企業を下記4つのテーマ

- ・ 防災・減災インフラ
- ・ 環境インフラ
- ・ 医療インフラ
- ・ デジタルインフラ

に分類し投資します。

12月28日時点、4つのテーマへほぼ均等金額(図表1)を投資し、銘柄数も20銘柄ずつの計80銘柄としました。

図表1. テーマ別構成比率

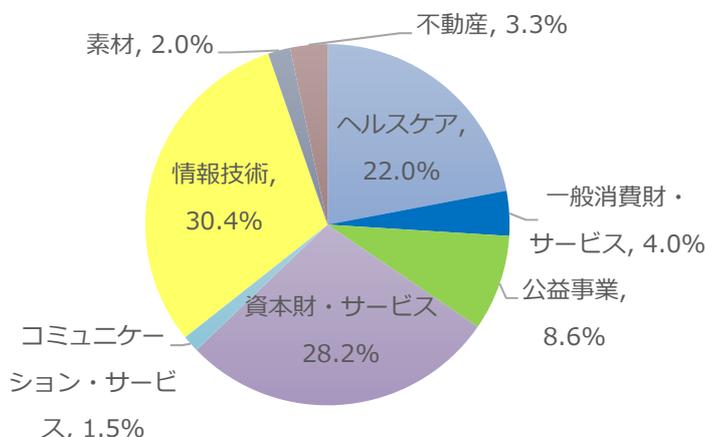


※比率は、小数点第2位を四捨五入しているため、合計が100%にならない場合があります。
※株式等の組入れ時価総額に対する比率です。

2. セクター

セクター別構成比率については、図表2の通りです。

図表2. セクター別構成比率



※比率は、小数点第2位を四捨五入しているため、合計が100%にならない場合があります。
※株式等の組入れ時価総額に対する比率です。

<本資料に関してご留意いただきたい事項>

■本資料は、情報提供を目的として岡三アセットマネジメント株式会社が作成したものであり、ファンドの投資勧誘を目的として作成したものではありません。■本資料に掲載されている市況見通し等は、本資料作成時点での当社の見解であり、将来予告なしに変更される場合があります。また、将来の運用成果を保証するものではありません。■本資料は、当社が信頼できると判断した情報を基に作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■投資信託の取得の申込みに当たっては、投資信託説明書（交付目論見書）をお渡ししますので必ず内容をご確認のうえ、投資判断はお客様ご自身で行っていただきますようお願いいたします。



3. 投資地域・国

投資地域・国別の構成比率は、図表3の通りとなりました。

図表3.投資地域・国別構成比率

北米	56.6%
米国	54.7%
カナダ	1.9%
アジア	20.9%
日本	18.9%
台湾	2.0%
欧州	22.5%
英国	4.6%
スペイン	4.0%
オランダ	3.3%
フランス	3.1%
デンマーク	2.6%
ノルウェー	2.3%
スイス	1.6%
スウェーデン	1.0%

4. 通貨

通貨別の構成比率は、図表4の通りとなりました。

図表4.通貨別構成比率

米ドル	58.2%
日本円	18.9%
ユーロ	10.4%
英ポンド	3.0%
デンマーククローネ	2.6%
ノルウェークローネ	2.3%
カナダドル	1.9%
スイスフラン	1.6%
スウェーデンクローナ	1.0%

5. 組入上位銘柄

組入上位銘柄は、図表5の通りとなりました。

図表5.組入上位銘柄

順位	銘柄	地域・国	産業グループ
1	マイクロソフト	米国	ソフトウェア・サービス
2	テスラ	米国	自動車・自動車部品
3	HCAヘルスケア	米国	ヘルスケア機器・サービス
4	日本電産	日本	資本財
5	アメリカン・タワー	米国	不動産
6	アップル	米国	テクノロジー・ハードウェアおよび機器
7	ファイザー	米国	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
8	日立製作所	日本	資本財
9	ヴェスタス・ウィンド・システムズ	デンマーク	資本財
10	ユニバーサル・ヘルス・サービスズ	米国	ヘルスケア機器・サービス

※各比率は株式等の組入れ時価総額に対する比率です。

※各比率は、小数点第2位を四捨五入しているため、合計が100%にならない場合があります。

※地域・国は登録国で表示しています。

<本資料に関してご留意いただきたい事項>

■本資料は、情報提供を目的として岡三アセットマネジメント株式会社が作成したものであり、ファンドの投資勧誘を目的として作成したものではありません。■本資料に掲載されている市況見通し等は、本資料作成時点での当社の見解であり、将来予告なしに変更される場合があります。また、将来の運用成果を保証するものではありません。■本資料は、当社が信頼できると判断した情報を基に作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■投資信託の取得の申込みにあたっては、投資信託説明書（交付目論見書）をお渡ししますので必ず内容をご確認のうえ、投資判断はお客様ご自身で行っていただきますようお願いいたします。



インフラ関連グローバル株式ファンド 愛称 にいがたインフラサポート
追加型投信／内外／株式

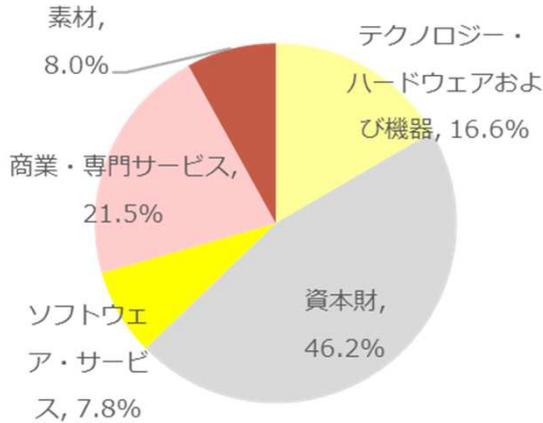
6. テーマ別の主な組入銘柄および産業グループ

防災・減災インフラ

図表6-1-1.主な組入銘柄

日立製作所	日本
モトローラ・ソリューションズ	米国
ジェイコブズ・エンジニアリング・グループ	米国
WS Pグローバル	カナダ
リンデ	英国

図表6-1-2.産業グループ別構成比率

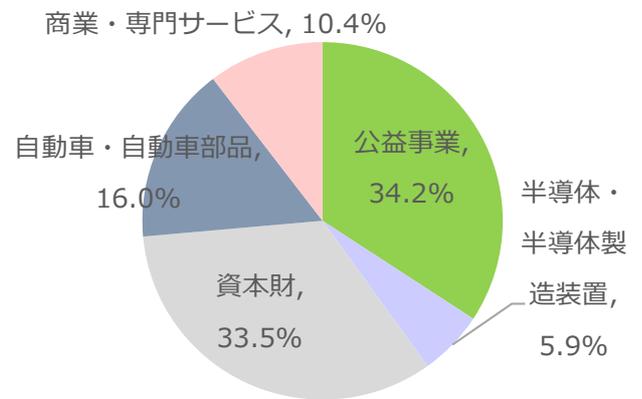


環境インフラ

図表6-2-1.主な組入銘柄

テスラ	米国
日本電産	日本
ヴェスタス・ウィンド・システムズ	デンマーク
ネクストエラ・エナジー・パートナーズ	米国
アメリカン・ウォーター・ワークス	米国

図表6-2-2.産業グループ別構成比率

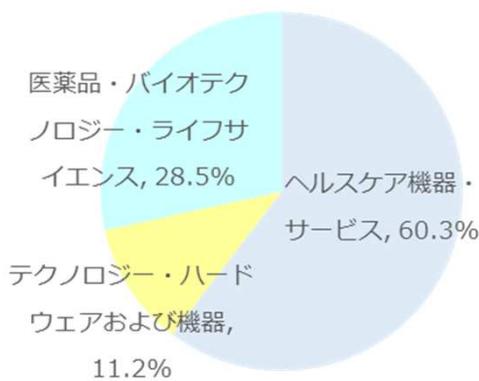


医療インフラ

図表6-3-1.主な組入銘柄

HCAヘルスケア	米国
アップル	米国
ファイザー	米国
ユニバーサル・ヘルス・サービスズ	米国
アンセム	米国

図表6-3-2.産業グループ別構成比率

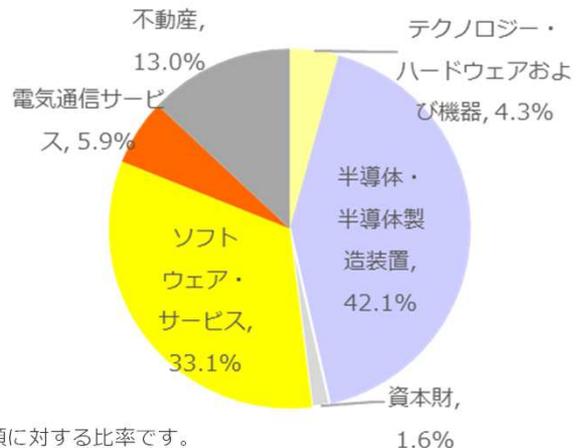


デジタルインフラ

図表6-4-1.主な組入銘柄

マイクロソフト	米国
アメリカン・タワー	米国
ASMLホールディング	オランダ
台湾積体回路製造 (TSMC)	台湾
レーザーテック	日本

図表6-4-2.産業グループ別構成比率



※各比率は各テーマに分類される株式等の組入れ時価総額に対する比率です。
 ※各比率は、小数点第2位を四捨五入しているため、合計が100%にならない場合があります。
 ※地域・国は登録国で表示しています。

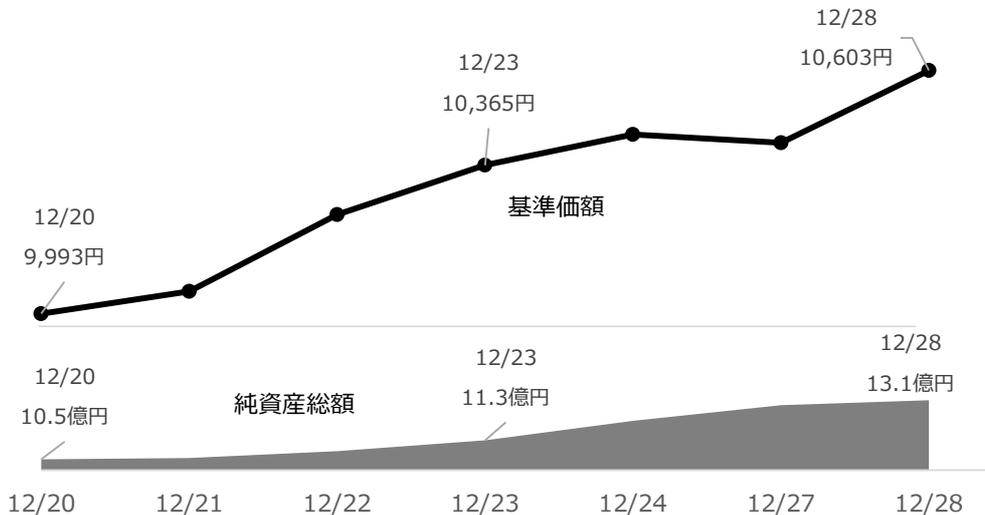
<本資料に関してご留意いただきたい事項>

■本資料は、情報提供を目的として岡三アセットマネジメント株式会社が作成したものであり、ファンドの投資勧誘を目的として作成したものではありません。■本資料に掲載されている市況見通し等は、本資料作成時点での当社の見解であり、将来予告なしに変更される場合があります。また、将来の運用成果を保証するものではありません。■本資料は、当社が信頼できると判断した情報を基に作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■投資信託の取得の申込みに当たっては、投資信託説明書（交付目論見書）をお渡ししますので必ず内容をご確認のうえ、投資判断はおお客様自身で行っていただきますようお願いいたします。

インフラ関連グローバル株式ファンド 愛称 にいがたインフラサポート
追加型投信／内外／株式

7. 設定来の基準価額および純資産総額の推移

図表7.基準価額および純資産総額



※上記のグラフの基準価額は1万口当たり、信託報酬控除後です。
※グラフは過去の実績であり、将来の成果を示唆または保証するものではありません。

8. 運用方針について

世界のインフラ関連企業を巡る環境は、従来のインフラ整備に加え、国土強靱化、地球温暖化対策、5Gなどの通信網整備、DX(デジタルトランスフォーメーション)など次世代型インフラへの投資が加速しており、長期的なテーマとしてマーケット拡大が見込まれ、良好な環境と言えます。

今後の運用方針につきましては、世界の「防災・減災インフラ」、「環境インフラ」、「医療インフラ」、「デジタルインフラ」の4テーマに関連する企業が有する各テーマに関わる技術や製品、成長性、収益性に注目して銘柄選定を行い、運用成果を上げていきたいと考えています。

図表8.各テーマの事業例



※各テーマの事業例は参考であり、今後変更になる場合があります。

(作成：運用本部)

<本資料についてご留意いただきたい事項>

■本資料は、情報提供を目的として岡三アセットマネジメント株式会社が作成したものであり、ファンドの投資勧誘を目的として作成したものではありません。■本資料に掲載されている市況見通し等は、本資料作成時点での当社の見解であり、将来予告なしに変更される場合があります。また、将来の運用成果を保証するものではありません。■本資料は、当社が信頼できると判断した情報を基に作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■投資信託の取得の申込みに当たっては、投資信託説明書(交付目論見書)をお渡ししますので必ず内容をご確認のうえ、投資判断はおお客様ご自身で行っていただきますようお願いいたします。



インフラ関連グローバル株式ファンド 愛称 にいがたインフラサポート
追加型投信／内外／株式

インフラ関連グローバル株式ファンドに関する留意事項

【岡三アセットマネジメントについて】

商号：岡三アセットマネジメント株式会社

岡三アセットマネジメント株式会社は、金融商品取引業者として投資運用業、投資助言・代理業および第二種金融商品取引業を営んでいます。登録番号は、関東財務局長（金商）第370号で、一般社団法人投資信託協会および一般社団法人日本投資顧問業協会に加入しています。

【投資リスク】

- 投資者の皆様は投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。投資信託は預貯金と異なります。投資信託財産に生じた利益および損失は、すべて投資者の皆様には帰属します。ファンドは、国内外の株式等値動きのある有価証券等に投資しますので、組入れた有価証券等の価格の下落等の影響により、基準価額が下落し、損失を被ることがあります。また、外貨建資産に投資しますので、為替相場の変動により損失を被ることがあります。
- ファンドの主な基準価額の変動要因としては、「株価変動リスク」、「為替変動リスク」、「信用リスク」があります。その他の変動要因としては「流動性リスク」があります。

※基準価額の変動要因は上記のリスクに限定されるものではありません。

【その他の留意点】

- ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定（いわゆるクーリングオフ）の適用はありません。
- 投資信託は預金商品や保険商品ではなく、預金保険、保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、登録金融機関が取扱う投資信託は、投資者保護基金の対象とはなりません。
- 分配金は、預貯金の利息とは異なり、ファンドの純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。分配金は、計算期間中に発生した収益を超えて支払われる場合があるため、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。また、投資者の購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がりがあった場合も同様です。
- 取引所における取引の停止、外国為替取引の停止、決済機能の停止、その他やむを得ない事情があるときは、購入・換金申込みの受付を中止することや、すでに受付けた購入・換金申込みの受付を取消すことがあります。
- 詳しくは、「投資信託説明書（交付目論見書）」の「投資リスク」をご参照ください。

【お客様にご負担いただく費用】

＜お客様が直接的に負担する費用＞

- 購入時
 - 購入時手数料：購入金額（購入価額×購入口数）×上限3.3%（税抜3.0%）
詳しくは販売会社にご確認ください。
- 換金時
 - 換金手数料：ありません。
 - 信託財産留保額：ありません。

＜お客様が信託財産で間接的に負担する費用＞

- 保有期間中
 - 運用管理費用（信託報酬）
：純資産総額×年率1.705%（税抜1.55%）
- その他費用・手数料
 - 監査費用：純資産総額×年率0.0132%（税抜0.012%）
- 有価証券等の売買に係る売買委託手数料、信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用、海外における資産の保管等に要する費用等を信託財産でご負担いただきます。（監査費用を除くその他費用・手数料は、運用状況等により変動するため、事前に料率・上限額等を示すことはできません。）
- お客様にご負担いただく費用につきましては、運用状況等により変動する費用があることから、事前に合計金額もしくはその上限額またはこれらの計算方法を示すことはできません。
- 詳しくは、「投資信託説明書（交付目論見書）」の「手続・手数料等」をご参照ください。

販売会社

受益権の募集の取扱い、投資信託説明書(交付目論見書)、投資信託説明書(請求目論見書)及び運用報告書の交付の取扱い、解約請求の受付、買取請求の受付・実行、収益分配金、償還金及び解約金の支払事務等を行います。

商号	登録番号	加入協会			
		日本証券業協会	一般社団法人 日本投資 顧問業協会	一般社団法人 金融先物 取引業協会	一般社団法人 第二種金融商品 取引業協会
(金融商品取引業者)					
岡三にいがた証券株式会社	関東財務局長(金商)第169号	○			

<本資料に関するお問合わせ先>

フリーダイヤル **0120-048-214** (9:00~17:00 土・日・祝祭日・当社休業日を除く)